

靴ひも

ハムカツ太郎(仮)

《memento-mori》

ぶくぶくのセキレイが近くにきて 天国ではちゃんと食べてるよって

SDGs 生きることといつか死ぬこと 自分のいなくなった地球のこと

ソフトクリーム食べるにはまだ早すぎて これだよかったのかと四月のキャンパスで

右手のカスタードプリンは自分との約束 これ食べるまでは死なない

神様はいると思った 祖母は亡き夫に毎朝コーヒーを淹れる

神は細部に宿るって　そう君が言ったから傘をきれいに畳む

それでも人だ　生命は煌めいて君は生き続けるって信じる

線路沿いの花束たちが泣いていて／あいつらきつと笑ってて／世界

カモシカも楽に死にたいと願うのか／遅延のニュースに人は笑うか

人生（のたいていのこと）は　夢　愛　死　の三つで語れるらしくて

《naming rights》

この世界のすべてのものに名前を付けてやる　そうやって海に溺れる

(好きすぎるから)「毎日は聞かないけれどきつと一生聞きます」

名前は付けずに保存する　苦しみでも悲しみでもなく痛みだけが

消費しない　みんなと私は違うんだ　ヒットチャートを聞きたくはない

泣ける映画を見て泣かない（泣きたくない）私たち 社会に対して不器用だった

泣けるの「る」は自発だろうかそれとも可能か 感動は商品だろうか

《2》

分かり合えやしないことだけ分かり合うのさ きっとそれでいいから

灰色の雲をすべて取り除く夢を見ていた君に会いたい

あつたかゝい季節が急にいとしくて私の春は遠いとおもつた

山月記の李徴のごとく消えた君 素敵すぎるからこの教室には居られなかった

ホンモノしか愛せないかも ガクチカって聞いて世間かなにかに吐き気がしちやっつて

はなやいで 1000%!!のきみ 夏になったら2000%!!!!!!